

保護者様

下諏訪町立下諏訪中学校長 中澤 隆一

令和5年度 学校自己評価まとめについて

年の暮れの候 保護者の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、先月保護者の皆様にご協力をいただき実施しました学校自己評価について、下記のようにまとめさせていただきました。ここまでの反省を生かし、今後に向けて改善していくことができるようにしたいと思っております。よろしくお願い致します。

なお、アンケートは生徒数 307 名中、オンライン回答含め 242 名の保護者より提出していただきました。

記



1 学校教育目標に照らして

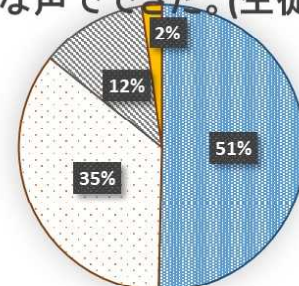
(1) 【三重点】挨拶

生徒アンケート「挨拶が大きな声でできたか」という質問に、「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えた生徒の割合は 86 %と、昨年度をやや下回ったものの、多くの生徒ができていると答えている。コロナ5類移行後、生徒会で取り組む挨拶運動や部活動で取り組んでいる挨拶当番も徐々に再開し、朝夕に元気な挨拶が聞こえる下中となっている。

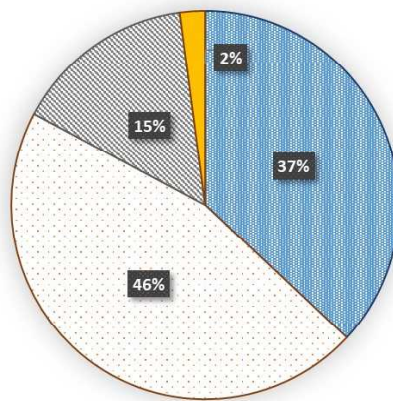
来校された方からも挨拶が気持ちよい学校であるとの評価をいただくことが多く、下の保護者アンケートでもあいさつができているという回答の割合は 83 %と昨年と同様高い。PTA あいさつ運動は本年度も感染対策をして行っていただいた。

一方で、大きな声を出すことに抵抗を感じ、自分から進んで挨拶できていないと感じている生徒もおり、生徒一人一人の思いに寄り添いながら、気持ちよく相手に届く挨拶ができる生徒と教師集団を、保護者、地域の方々と連携しながら目指していきたい。

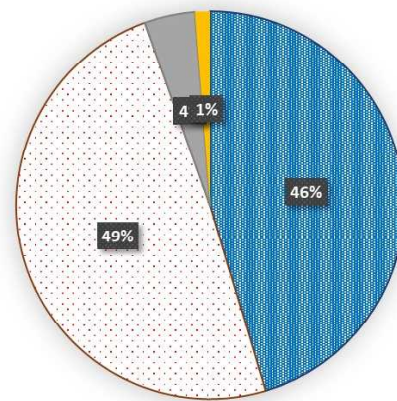
7 友達・先生・来校者に対して挨拶が大きな声でできた。(生徒)



3 お子さんは気持ちの良い挨拶ができている。



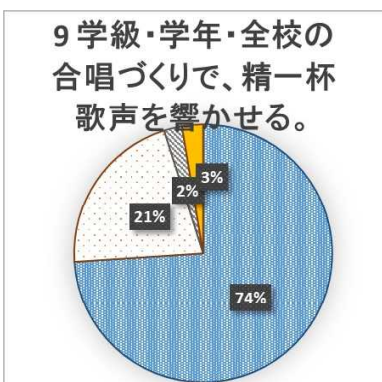
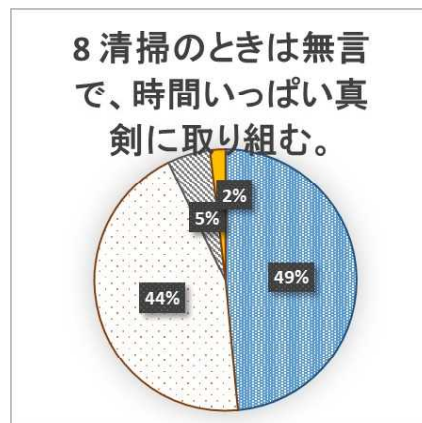
9 職員や生徒は明るい挨拶ができている。



(2) 【三重点】清掃

本年度も、生徒会を中心に充実した清掃への取り組みが行われており、清掃の時間になると学校中が静かになり多くの生徒が無言で真剣に清掃に取り組んでいる。時間いっぱい、気付いて清掃しようとする姿が多くみられ、「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えた生徒の割合は93%（昨年と同率）と高くなっている。

28年度より取り入れている縦割り清掃も、上級生の清掃に取り組む姿と気持ちを下級生が引き継ぐことで、学校全体の清掃が向上している。校友会の清美委員会の活動と併せて、清掃が「やらされる清掃」から「自分に向き合う清掃」に向けてさらに支援を続けていきたい。



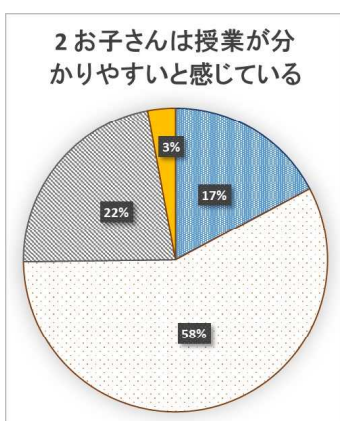
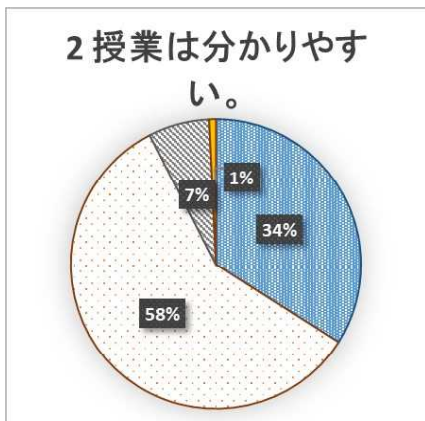
(3) 【三重点】歌声

本年度も、各学年・学級・校友会で、重点として歌声の向上に取り組んできた。年間の行事として、音楽会の他に、音楽集会、歌声交歓会、3年生を送る会、アカペラ交歓会など、歌う機会を設け、一年中学校内に歌声が響くように計画し、本年度も下諏訪文化センターのホールをお借りして音楽会を実施した。4年ぶりに全校合唱も再開し、保護者の皆様にも大ホールで鑑賞いただくことができた。響きの良いホールでの合唱は生徒にとっても充実感を味わえるものとなった。また、令和3年度から月ごとにテーマとなる歌を決め、放送で流したり、クラスで歌う活動を行ったりして、歌声の向上に向けて全校一丸となって取り組むことができた。

生徒アンケートの結果からも、「精一杯歌声を響かせることができた」という質問に対し、「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えた生徒の割合は95%と多く、歌声への取り組みに満足感をもっていることが伺える。

2 学力向上という面から

(1) 学校の取り組み



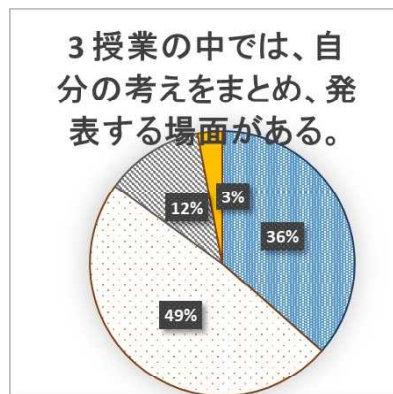
生徒の学力向上を目指して、平成29年度から、教科毎の授業アンケートを年に2回実施している。教員が自分の授業について客観的に振り返り、思いがけない意見を生徒からもらうなど、今後の授業への参考にすることができている。

「わかった」と実感できる授業を目指し、教科ごとに授業の内容ややり方を検討し、他教科の職員も関われるように研究を行いながら授業作りをおこなってきた。特に、一人一台タブレットや、インターネットにも接続できる電子黒板の導入により、これまでとは違ったスタイルの授業に

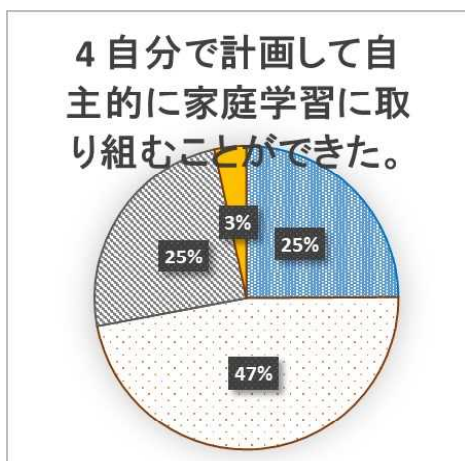
ついて研修を深めている。また、学級閉鎖時や出席停止の生徒に向けたオンライン授業についても、わかりやすい配信を目指してきた。

「授業はわかりやすいか」という生徒への質問に対し、「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えた生徒の割合が 92 % と高いが、授業にわかりにくさを感じている生徒が 8 % おり、クラスに 1～2 人はわかりにくさを感じて生徒がいることになる。保護者アンケートでは、25 % の保護者が、子どもが授業にわかりにくさを感じていると考えており、授業での満足感と学力向上にずれが感じられる。

また、「自分の考えをまとめ、発表する場面がある」という質問では、「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えた生徒の割合が 85 % と昨年より 5 % 増加した。5 類移行後、グループ討議や対面での話し合いができるようになった。生徒自らが考え、関わり合い、発信していける授業改善を進め、主体的で対話的で深い学びの実現を目指していきたい。



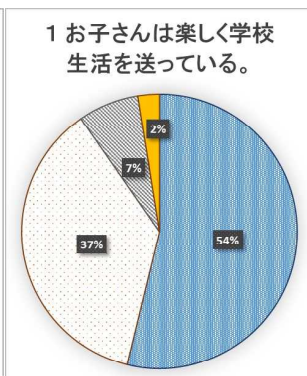
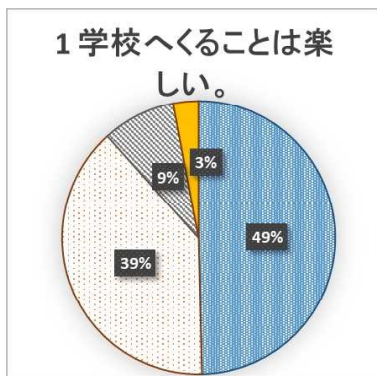
(2) 家庭学習の充実



29 年度より、一人ひとりの生徒が主体的に計画して取り組む家庭学習への転換を図るべく、全国学力学習状況調査の結果が良い都道府県の宿題について研究を行い、自分に必要な学習を自ら考えて行う家庭学習への方向転換を図ってきた。本年度は昨年度に引き続き、家庭学習のより良い方法について生徒に伝え、各教科ごとに用意した問題集の使い方など、知識面での学習について折に触れて生徒に伝えながら、家庭学習を促してきた。

その結果、生徒アンケート「自分で計画して自主的に家庭学習に取り組むことができた」では、72 % の生徒が「当てはまる、だいたい当てはまる」と答えている。しかし、4 人に 1 人以上は家庭学習を思い通りに進められないと感じる生徒がおり、すべての生徒が自らの課題を明確にして自主的な学習に取り組めるようにさらに支援を進めていきたい。

3 落ち着いた学校生活という面から



アンケートの「楽しく学校生活を送っている」という項目で、生徒 88 % ・保護者 91 % が「当てはまる、だいたい当てはまる」と回答している。しかし、この項目については、100 % が「当てはまる」でなければならない設問であり、10 % ほどの生徒と保護者が学校生活に楽しさを感じられず、そのうち 2～3 % が「当てはまらない」と答えていることについては、ひとりひとりの生徒のようすをさらに丁寧に見取り、必要な相談や支援を全職員でしていけるように体制づくりを強

化していきたい。また、現在登校できていない生徒や、友との関わりの中でつらい思いをしている生徒、学校生活に不安や困難を感じている生徒をゼロにしていくために、今後も保護者と連携を図りながら、一人ひとりの生徒が安心して学校生活を送ることができるように全職員で取り組んでいきたい。

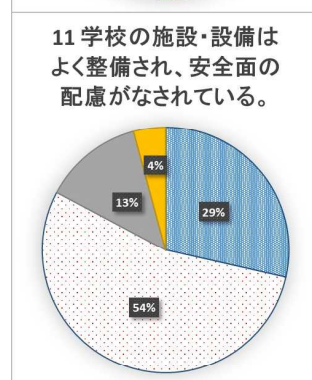
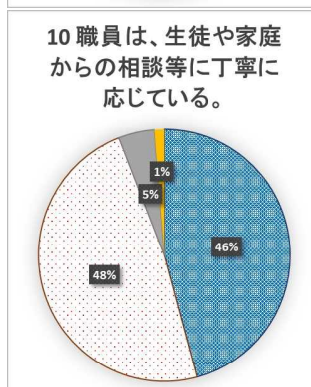
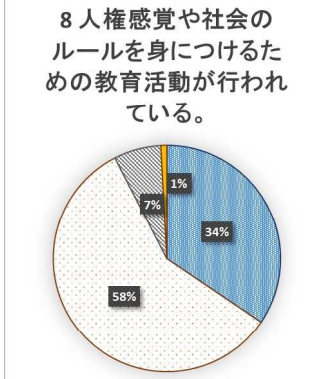
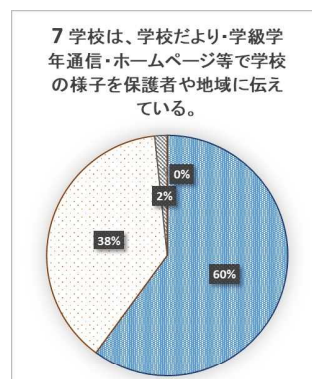
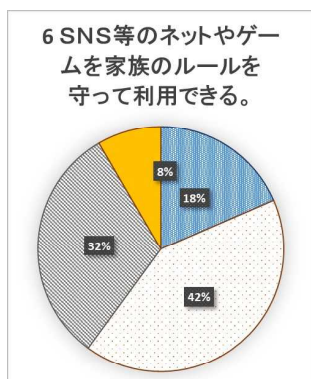
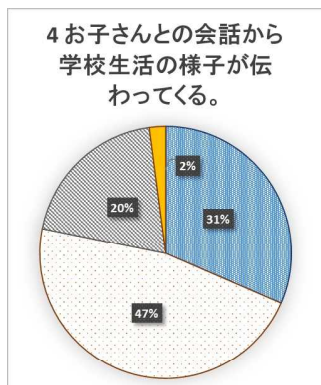
4 保護者の皆様からいただいたご意見の総括

全体としては生徒が楽しく学校生活を送っている、とのご意見が多数寄せられました。一方で、「授業やテストについての要望」「制服や学校のきまりへのご意見」「教師の言動に関する要望」「感染症への対応」「すぐーの良さと課題」等について検討や改善を求めるとのご意見もいただきました。

ご指摘いただいたことを全職員で共有し、現状を見返し、今後の学校運営や子どもたちとの向き合い方に生かして参りたいと考えます。生徒や保護者の皆様とよりよい信頼関係を築けるように常に心掛け、今後も学校と家庭の連携を密にしながら、子どもを中心に据えた教育活動をしていきたいと思っております。

学校のきまりについて、時代の変化に伴い見直しが必要なものもあると認識しています。今週の校友総会では、靴下の色について生活委員会からの提案もあり、3学期より別紙のように改定いたします。

学校の施設設備に関しては、トイレについて「和式から洋式へのリフォーム」「全面的な改修」のご要望を複数いただきました。以前より下諏訪町へ強く要望して参りましたが、今年のしもすわ未来議会で、生徒の立場からも町へ要望されました。町内4校について、少しずつ改修するとの回答いただいております。また、「部活への顧問教諭の参加」につきましては、部活の地域移行も見据えながら進めて参ります。いずれもご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。



令和5年もあと一週間となりました。今年も学校運営へのご協力に感謝いたします。明日から 17 日間のお休みになります。体調を崩さぬよう、また冬の事故などありませんよう、良いお年をお迎えください。

